



第121号 東海美術連盟ニュース
発行日：令和5年6月1日
発行責任者：棚井 哲雄

令和5年度 総会 開催

理事長 棚井 哲雄

3年前に突然発生し、世の中を震撼させたコロナ禍も、ここに来てウイルスの分類も2類から5類と変わり多少は落ち着いてきたとはいえ、まだ不安がないとはいえないこの頃です。

少し前の新聞のある欄で、15年前に最愛の娘を家の前で交通事故で亡くしたという記事を目にしました。当時11歳。生きていれば26歳になるという我が子の事は1日も忘れた事はない。娘を亡くした親は、今つくづくと思います。【幸せとは、当たり前が当たり前にある事。『行ってきます』があり『ただいま』がある。そんなささやかなことがいかに幸せな事か・・・】と。そうした本当にささやかな毎日の積み重ねがあって、その人なりの人生があるのではないかと。

この哀しみとは当然比較にはなりません、我々も『絵』を描くという共通の趣味を持ち、花を観たり、風景を観たりして日々感動したものを描いてみたい。

これからの展覧会の事、期日に間に合うよう悩みながらも絵を描くという『何気ない日常』（どなたかの絵の題名を無断で借用しました）が失われてその大切さを実感します。

前置きが長くなりましたが、3月26日(日)にそうしたことを踏まえ、令和5年度の総会を開催しました。

行事内容においては例年とあまり変わりませんが、各行事が無事遂行され、少しでも参加者が増えて皆さんが今までの日常を取り戻すことを期待するところです。

総会の内容としましては、今年度は役員に変更

ありました。事務局員でした加藤木さん、田所さんが退任されました後、新たに安さん、川崎千恵子さん、川崎春江さんに入って頂きました。加藤木さん、田所さんには長い間お世話になりご苦労さまでした。改めて深謝申し上げますと共に、今後もアドバイス等よろしく願い致します。また、今まで一緒に活動してきた彫刻支部が、作業の拠点を水戸に移した事で、北沢さんを除き他全員が退会することになり、会員数が大幅に減ることになりました。

尚、2025年には当美術連盟が『創立50周年』を迎えます。過去10年ごとに記念誌、記念展覧会、パーティ等を行ってきました。おかげさまで記念行事の積み立て金が予定額に達しました。

これから具体的にその内容を決めていきたいと思っています。近く『50周年記念事業遂行委員会』（仮称）を立ち上げます。この件で何か案がありましたら、事務局まで是非ご意見をお願いいたします。

今年の総会の中丸コミセンで開催。参加者は30名、皆さんと一緒に、お互い健康に十分留意し元気で楽しく、そして悔いのない日常を過ごしていきたいと思っています。よろしく願い致します。



資料を読み上げる本多さん

芸術祭2023



東海村芸術祭2023が、5月14日から6月10日にわたり東海ステーションギャラリーA・Bの他に、今年度は文化センターにも芸術祭の周知拡大を目指し、展示ブースを設置し各連盟から作品数点が展示されました。また、のぼり旗を作成するなどの試みがありました。

美術連盟は開始日から5月14日から5月20日までギャラリーA・Bに46点の絵画・彫刻・工芸の作品の展示となりました。

初日には、ケーブルテレビJWAYの取材があり、理事長が連盟の活動についての説明をしました。

新型コロナウイルス感染拡大から4年目を迎えた開催で、多少不安も残る中での開催でしたが、会員

の作品は素晴らしいものが展示されていたと思います。

例えば、絵画教室に入会されている会員の方ですが、教室時には「どうなるのか？」と思った作品をご自宅で更に描き続けたのでしょよね。展示された絵画は素敵で立派な作品に変わっていました。

「努力」は「力」なんです。

昨年度は、493名、今年度は510名の方々が来場され、我々の作品を鑑賞していただきました。

更に、5月24日～26日にかけて合同展示がギャラリーBで各連盟の作品が一堂に展示されました。初めての試みでしたが、様々な作品を展示いただいた会員の皆さん。展示の当番をされた方々、展示作業に協力をいただいた方々、ありがとうございました。



想いのこもった力作ぞろい



具象あり抽象あり



「あら～いいじゃな～い」



芸術祭スナップ

バラエティーに富んで見ごたえ充分!



「この感じ ステキねえー」



「どれどれどれ～」



南支部

安土 重春さんに

Tea タイム

- 📍 絵を描こうと思ったきっかけは何ですか？
 ▲ キっかけは、先輩から風景画の年賀状を頂いて感動したことでした。いつか自分も、ということで、連盟主催の日曜絵画教室に入ったところから、毎年自分で描いた水彩画を年賀状にして送るようにしています。(写真右下)
- 📍 絵を描いて良かったなと思った点は
 ▲ 絵は下描きした後、自分のイメージを込めて彩色していきますが、ピュアな気持ちでキャンバスと向き合うことで、心のもやもや感が消えていくような気がしてこの時間が好きです。
- 📍 この先ずっと絵を描き続けるためにも、心がけていることは
 ▲ 健康維持の一つとしてはフィットネスクラブで汗を流した後サウナや水風呂でリラックスすることです。私のフィットネスクラブの1日のルーティンは2.5時間程度ですが月の内15日位は通っています。

- 📍 絵を描く以外に楽しんでされていることは
 ▲ ゴルフは好きで30年位続けています。色々なゴルフ仲間とラウンドしながら他愛のない会話をするのが楽しみの一つです。あとは図書館で気に入った内容の本を探するのも楽しみの一つです。
- 📍 これからどのような絵を描いてみたいですか
 ▲ 絵を描くときすごく気になるのが対象物の構造です。花なら花弁が何枚あって葉は互い違いなのかとか。屋根瓦は縦横に何枚並んでいるとか。これからは、もう少しラフでも勢いを感じてもらえる様な絵を描いていきたいと思っています。



教室の作品でしょうか。芸術祭出品作品と



“安土さんの年賀状の歴史”
 心がこもった年賀状はいただいてうれしいですね

Information

第76回女流画家協会展	5月25日(木)～6月13日(火) 9:30～17:30	東京都美術館	【柴田】
第54回水戸市芸術祭(洋画・彫刻・工芸美術)	5月30日(火)～6月9日(金) 9:30～18:00	水戸市芸術館現代美術ギャラリー	【公募】
第51回茨城文化団体連合展	6月4日(日)～6月11日(日) 9:30～17:00	ザ・ヒロサワ・シティ会館	【美術団体】
東海村芸術祭2023技芸連盟展	5月28日(日)～6月3日(土) 10:00～17:00	東海ステーションギャラリーA	【会員】
第34回 日本画日新会展	5月30日(火)～6月4日(日) 10:00～17:00	日立市角記念市民ギャラリー	【川崎志保ほか】
第72回日立美術協会展	6月6日(火)～6月11日(日) 10:00～18:00	日立シビックセンター1Fギャラリー	【高橋・石山ほか】
第32回アートフラッグ展	7月2日(日)～7月8日(土) 10:00～18:00	東海ステーションギャラリーA	【加藤木ほか】
第21回ジュディ展	7月9日(日)～7月15日(土) 10:00～18:00	東海ステーションギャラリーA	【中田・木梨ほか】
第63回ノン・ブラッグ展	7月26日(水)～7月31日(月) 9:00～17:00	ザ・ヒロサワ・シティ会館	【照沼ほか】
夏休み子ども作品教室	7月29日(土)	東海文化センター	【派遣講師】
裸婦デッサン会	8月2日(水)～8月3日(木) 10:00～16:00	文化センター会議室	【担当支部 東支部】
新構造茨城作家展	8月27日(日)～9月2日(土) 10:00～18:00	東海ステーションギャラリーA	【石山・高橋・門前ほか】
第10回双風展	8月29日(火)～9月3日(日) 9:30～17:00	天心記念五浦美術館	【照沼ほか】

記事お知らせがありましたら編集委員まで

パレット編集員: 堀・野(カット)
 堀携帯 080 5682 0625
 Eメール: art651222@gmail.com



新会員紹介



西支部

内田昌弘さん



木版画を楽しんでいます。定年後の無趣味で、あり余る時間の過ごし方を考えていた時に、木版画なら美術のセンスがなくとも対応できると思い、NHK学園生涯学習通信木版画を受講し、その後NHK文化センター水戸教室

の木版画教室に月2回通っています。先生から展覧会への出品を勧められ、水戸市展、県展等へ出品しています。昨年10月に日立市から転居してきました。よろしくお願いいたします。



東海村芸術祭2023(102回東海美術連盟展)東海ステーションギャラリー

のぼり旗が立ちました



ギャラリーBで合同展示

